

## 1 乗降調査概要

### (1) 実施日

令和3年9月17日（金）

### (2) 実施方法

始発から終着のすべてのバスに調査員（第2種会計年度任用職員または職員）が乗車し、各バス停での乗車人数および降車人数を調査

## 2 調査結果

### ・一日の利用者数は、多い順に

Bコース 528人（1便当たり44人・前年度比約8.9%増）

Aコース 447人（同38人・前年度比約5.7%増）

Cコース 328人（同17人・前年度比約0.7%減）

Dコース 52人（同13人・前年度比約16.1%減）

Eコース 52人（同13人・前年度比約1.9%減）

でした。

### ・乗降人数全体の利用者は、新型コロナウイルスが流行する前（平成31年度・計1946人）に比べ28%減（593人減）でしたが、前年度に対しては3.4%の増（46人増）となり、回復傾向となっています。

### ・各コースの乗降者数が多い停留所は、前年度と同様に各駅の停留所で、乗車・降車の人数は共に微増しています。

### ・乗降の傾向は以下のとおりとなっております。

○午 前：通勤・通学のための駅利用者、市立病院や市役所等の公共施設の利用者が多い。特に平尾地区から若葉台駅、押立地区から矢野口駅、大丸地区から南多摩駅の利用者が多くなっています。

○午 後：駅利用者、公共施設の利用者以外に、商業施設近辺の利用者が増加しています。（若葉台駅・城山公園南・よみうりランド丘の湯等）

○夕方以降：通勤・通学の駅利用者の帰宅時の利用が多く、特に南多摩駅から向陽台・長峰地区の利用者が午前利用に対して非常に多くなっています。これは南多摩駅から同地区への路線バスが少ないことによるものと考えられます。